



平成 27 年 6 月 1 日

各 位

社名 グローバルアジアホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 楊 晶
(JASDAQ・コード 3587)
問合せ先 執行役員 中杉 大陸
TEL 03-5510-7841 (代表)

(訂正)「特別損失の計上に関するお知らせ」の一部訂正について

当社が、平成 27 年 5 月 20 日に開示した「特別損失の計上に関するお知らせ」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。訂正箇所には下線を付しております。

なお、本件特別損失の一部修正につきましては、本日公表の「(訂正・数値データ訂正)「平成 27 年 3 月期決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

記

訂正前

1. 特別損失の額

合計		1,161 百万円
内訳	固定資産除却損	1 百万円
	貸倒引当金繰入額	<u>723</u> 百万円
	減損損失	172 百万円
	事業譲渡損	10 百万円
	訴訟損失引当金繰入額	39 百万円
	偶発損失引当金繰入額	<u>183</u> 百万円
	債務保証損失引当金繰入額	31 百万円

訂正後

1. 特別損失の額

合計		1,161 百万円
内訳	固定資産除却損	1 百万円
	貸倒引当金繰入額	<u>727</u> 百万円
	減損損失	172 百万円

事業譲渡損	10 百万円
訴訟損失引当金繰入額	39 百万円
偶発損失引当金繰入額	<u>179</u> 百万円
債務保証損失引当金繰入額	31 百万円

訂正前

(2) 貸倒引当金繰入額 723 百万円

旧経営陣による新規事業の立ち上げや事業拡大のために実施した施策などに関し、資産性や回収可能性に疑義が生じたこと、また、テクノメディアが有する売掛債権に関して回収可能性を保守的に見直した結果、貸倒引当金繰入額を 723 百万円計上することになりました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、旧経営陣による運送会社への貸付金について、回収可能性を保守的に見直した結果、貸倒引当金繰入額を 10 百万円計上しております。

訂正後

(2) 貸倒引当金繰入額 727 百万円

旧経営陣による新規事業の立ち上げや事業拡大のために実施した施策などに関し、資産性や回収可能性に疑義が生じたこと、また、テクノメディアが有する売掛債権に関して回収可能性を保守的に見直した結果、貸倒引当金繰入額を 727 百万円計上することになりました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、旧経営陣による運送会社への貸付金について、回収可能性を保守的に見直した結果、貸倒引当金繰入額を 10 百万円計上しております。

訂正前

(6) 偶発損失引当金繰入額 183 百万円

旧経営陣やそれらに関係する取引先に対して有する当社債権の回収を図るための民事訴訟、並びに、当社が債務として認識していないものの旧経営者陣が借用したとされる金銭に関する返還請求訴訟への対応費用として、偶発損失引当金を 183 百万円計上することになりました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、旧経営者陣が借用したとされる金銭に関する返還請求訴訟への追加対応費用 60 百万円と、旅籠の支配権回復のための訴訟費用 13 百万円を計上しております。

訂正後

(6) 偶発損失引当金繰入額 179 百万円

旧経営陣やそれらに関係する取引先に対して有する当社債権の回収を図るための民事訴訟、並びに、当社が債務として認識していないものの旧経営者陣が借用したとされる金銭に関する返還請求訴訟への対応費用として、偶発損失引当金を 179 百万円計上することになりました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、旧経営者陣が借

用したとされる金銭に関する返還請求訴訟への追加対応費用 60 百万円と、旅籠の支配権回復のための訴訟費用 13 百万円を計上しております。

以上